

---

# 夢か現か幻か

黒影 美野

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢か現か幻か

### 【Nコード】

N9101Y

### 【作者名】

黒影 美野

### 【あらすじ】

三十年前、とある一人の者によってもたらされた高度な技術と文明により飛躍的な進歩をとげた江戸。

そんな江戸守護職、兼、妖怪退治の『誠・いろは四十八隊』に所属する黒野百鬼は、副長補佐という役職にも関わらず毎日寝ていて、隊旗持ちしかしてないなんとも言い難い奴、そんな彼には親友にも言えない秘密があつて……………

## 序章（前書き）

夢か現か幻か

はてさて、自分は本当に『存在』しているのでしょうか

自分は本当にこの世界に元から存在したモノなのでしょうか

・・・もしくはこの世界は本当に視覚化されたモノなのでしょうか

## 序章

この世界、自分以外は夢かもしれない

現<sup>うつ</sup>なのかもしれない

幻<sup>まぼろし</sup>・・・

自らが今望んでいる事を、そこにな�というのに具幻化させた

理想の生み出す幻かもしれない

そんな曖昧なものを、俺は見ていた

コポポポッ・・・

気泡が水面へと上がっていく

だんだん、水面が遠のき

手を伸ばすが水中から手が出ることはない

明るい光が見えなくなってきた

あ、これ俺死ぬのかな

なんて考えたりする

落ちて落ちて

これが夢のように思えてきた

だんだん落ちるこの感覚が現実には思えない

傍観者のように外から全体を見ている感覚

火事で家が燃えて、その周りで人が野次馬をしている……

それを第三者として見て楽しんでいる加害者のような

そんな複雑な感情

虚ろに開かれていた目がだんだん閉じられ

ついには完全に目を閉じる

落ちて、落ちて

自分が誰なのか解らなくなって

きつと、俺の存在は完全に消えるんだろう

アイツらの記憶からも消えるのだろう

そんな気がする

さあ、落つるは夢か幻か







## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9101y/>

---

夢か現か幻か

2011年11月27日08時48分発行